

学びのドリームプラン

第6学年 国語科

単元名：わたしは随筆家～6年生の自分を見つめよう～
「ずい筆を書こう」

指導者 東 真由美

児童の願い

小学校生活最後の一年間の自分の
思いを随筆に書いて残したい。



ゴール

最高学年になるまでの6年間の日々を振り返り、
体験を基に自分の思いを随筆に書く。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> これまでの体験を振り返り、印象に残っている様々な出来事を思い出し、目的を明確にもち取材をしている。 複数の出来事と感想、意見とを関連付けながら、自分にとっての価値を導き出し、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの体験を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し、取材をしている。 出来事と感想、意見とを関連付けながら、自分にとっての価値を導き出そうとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> 複数の出来事と自分のものの見方や考え方とを関連付けている。 出来事と自分のものの見方や考え方とを区別し、読み手を意識して、自分のものの見方や考え方が分かるように出来事を詳しく書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来事と自分のものの見方や考え方とを関連付けている。 出来事と自分のものの見方や考え方とを区別し、読み手に自分のものの見方や考え方が分かるように出来事を詳しく書いている。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> 6年生までの自分と比べてものの見方や考え方が広がっていることに気付き、今後の生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生までの自分と比べてものの見方や考え方が広がっていることに気付いている。

本単元で付けたい力

- 6年生までの日々を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し題材を集め、書く事柄を整理することができる。 【書くこと ア】
- 読み手に伝わるように出来事を詳しく書き、感想、意見をふまえ、随筆を書くことができる。 【書くこと ウ】

単元を貫く言語活動

自分のものの見方や考え方を深め、見つめ直すために随筆を書く。

「課題発見・解決学習」の過程(全10時間)

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
課題の設定(2) ○随筆の特徴を理解し、随筆を書きたいという意欲をもつ。 ・複数の随筆を読み、それぞれの作品のよさやおもしろさ、文章構成に気付く。 ・出来事、感想や意見、作者にとっての価値(ものの見方・考え方)などの視点で分析し、随筆の特徴を知る。	主体性
○随筆のテーマについて考え、学習の見通しを立てる。 ・随筆のテーマについて考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	主体性
情報の収集(1) ○自分の体験を振り返り、随筆に書く事柄を集める。 ・経験や出来事、その時の感想、意見などを「イメージマップ」に書く。	主体性

随筆の
並行読書

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
常時活動 ・日々の体験をもとに、随筆に書く事柄を取材メモに集める。	主体性
整理・分析（２） ○自分の選んだテーマをもとに、随筆に書く事柄を整理する。 ・「イメージマップ」を参考に、随筆に書きたい事柄を「ピラミッドチャート」に整理する。【ピラミッドチャート 上段：自分にとっての価値（ものの見方や考え方） 中段：感想、意見 下段：出来事】 【本時】	思考力
○文章全体の構成を考える。 ・「構成表」を用いて文章の構成を考え、出来事と感想や意見とを関係付けて、自分の書きたいことが明確にする。	思考力
まとめ・創造・表現（３） ○下書きを書く。 ・読み手に伝わるように出来事を詳しく書き、感想、意見とを関連付けて随筆を書く。	思考力
○下書きを推敲する。 ・作品を基に、書き手のものの見方や考え方をさらに明確にするためにはどうすればよいか「PMIシート」を基に分析し、推敲の視点について考える。 ・自分の作品を推敲する。	思考力
○下書きを清書する。 ・随筆を清書し、仕上げる。	
振り返り（２） ○作品を交流し合う。 ・作品を読み合い、友達のもの見方や考え方の違いに気づき、作品の評価を付箋に書く。	自己理解
学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	自己理解

随筆の並行読書